

ケアマネジメントの技術評価

ケアマネジメントの理念・原則について

- 利用者中心であるか⇒サービス利用者が中心になる考え方であるか。
- QOLを重視⇒生活者として、障害のある人たちを捉えているか。
- エンパワメントの視点⇒利用者自身が問題解決能力を身につけていく点を配慮しているか。
- 自立生活概念⇒自己決定を中心とする自立の思想
- アドボカシー⇒障害を持つ人たちの権利擁護を把握しているか。

ケアマネジメントの必要性・プロセスについて

- 利用者のインテーク・ニーズの確認
- 十分な面接が実施されたか。
- 複合的なニーズ・課題が確認されているか。
- 単一ニーズに対するアプローチをケアマネと勘違いしていないか。
- それらのニーズに対する支援を利用者は望んでいるか。
- 相談された内容・ニーズをサービスが無い等を理由に無かったことにしなかったか。

ニーズの把握・分析・評価＝アセスメントについて

- 必要に応じて家庭訪問をしたか
- 本人状況・家庭状況に聞き取りがおこなわれているか
- 希望とする生活とサービスの確認・課題、問題点の抽出が実施されているか。

課題の整理・ニーズの分析（サービス利用計画第一段階の作成）

- ニーズのアセスメント⇒ニーズの整理・目的の確認が実施されているか
- 期間・目的の設定・・・達成されるべき目標の明確な意識化
- ニーズに対し、必要な地域の社会資源の状況のイメージできたか。
- エコマップが書けたか。

サービス計画(ケアプラン)の作成・決定・ケアプランに基づくサービス調整

- 関係機関によるチームアプローチを意識。理解してケアマネジメントを進めているか。
- 利用者のサービスに関わる関係者が集まる会議が開催されたか。
- 利用者に関わるケアマネジメントの基本方針がチーム内で確認されているか。
- 個々のサービスの役割分担が明確化されているか。
- チーム内での情報の共通理解に向け、業務手順や各書式が文章化されているか。
- 本人のサービスの了承がなされているか。
- なんらかの利用により充足されなかったサービスがあったか
- それらのサービスについて、今後どのように創出していくかを検討されたか。